

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

| 書名 項目 | 新しい書写 | | 2 東 書 |
|---|---|---|----------|
| 内容 | <p><生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p> | | |
| | <p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・表紙裏「文字を『書く』って、なんだろう」では、イラストを用いて生徒が身につけた書写の知識技能が、実生活でどのように役立つかが簡潔に書かれている。 ・学年のはじめのページに、学年の目標を一言で載せている。 ・基本単元では①「見つけよう」②「確かめよう」③「生かそう」の3つのステップで構成されていて、学習の一連の流れやねらいが明確化されている。 | |
| | <p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 | <ul style="list-style-type: none"> ・「書く」ページはシンプルに、「考えたり話したりする」ページは写真資料が多い構成になっている。 ・基本単元の3つのステップの最後に「生かそう」で学習を振り返りながら書く構成になっている。 ・「書の古典」では、「書風」について掲載されており、芸術としての書道につながる工夫がなされている。 | |
| | <p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・国語の教科用図書に出てくる題材が提示されており、生徒の関心や学習意欲を高めている。 ・「生活に広げよう」では、年賀状やハンコ作り、お礼状、職場訪問の手紙、ポスター、本のポップ等、身につけた知識を実生活の中で生かす教材が取り入れられている。 ・防災訓練の話し合いメモやパンフレット作りは、現代社会で身近な「防災」という点で生活に結び付きやすい題材を設定している。 ・「思いを文字で表そう」では、卒業制作を通して、書写で身につけた力を活かす題材になっている。 ・各学年の最後のページに、「書写テスト」が掲載されており、学んだことを確認する構成になっている。 | |
| | <p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p> | | |
| <p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科等横断的な学習内容をリンクのマークで示し、各教科と関連づけている。 ・活用単元「生活に広げよう」では、書写で学んだことを普段の生活や他教科の学習で生かすような教材（手紙の書き方など）が設定されている。 | | |
| その他 | <p><資料の構成・配列や表記・表現></p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が視覚的に捉えられる多様な写真資料が掲載されている。 ・「書字活用ブック」では、日常で役立つ内容が項目ごとに整理されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを用いて文字の特徴や学習の確認、ワンポイントアドバイスを示している。 ・二次元コードを用いて、手本の文字の運筆を動画で見られるようになっている。 ・小中連携の視点で、毛筆の基本の点画の書き方が始筆「とん」、送筆「すう」、終筆「びたっ」で示されている。 | | |

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

| | | | |
|---|--|--|-----------|
| 書名 項目 | 現代の書写 | | 15 三省堂 |
| 内容 | <生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか> | | |
| | ○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 | ・書き方のポイントや内容が、短い言葉で明示されている。 ・1年間の学びの見通しを持てるように、単元が順を追ってタブで表示されている。 ・見開き1ページで構成され、学びの手順が見てわかるようにレイアウトされている。 | |
| | ○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 | ・二次元コードでは、「NHK高校講座」の動画が4回分掲載されており、高校書道の動機づけにつながる内容となっている。 ・文字に関わる仕事（活字風の文字を手書きする人・手書き風の活字を生み出す人）を紹介することで、文字文化の豊かさに触れている。目的や必要に応じて文字を書くことについて学び合える内容である。 ・巻末では、資料編として、日常の書式が紹介されている。 | |
| | ○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 | ・「名言集を作ろう」では、中学校生活で出会った言葉を書くという取り組みが載っている。 ・「資料編」では、実生活の課題解決につながる題材（便箋・願書等）や、「情報誌を作ろう」といった、生活に結び付き将来に役立つ内容がある。 ・「書いて身につけよう」では、硬筆による書き込みページが設定されている。 ・単元を通して学んだことを自分の言葉でまとめる書き込み欄があり、振り返りを記述する欄がある。 ・「学力テスト問題」により理解度が確認できる構成になっている。 | |
| | <教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか> | | |
| ○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 | ・「グループ新聞を作ろう」では、話し合っって作成する活動により、道具や書体を工夫して学習を深められる。 ・仮名の字形や文字の大きさ、レイアウト等を考えながら取り組め、他教科でも応用できる教材が設定されている。 | | |
| その他 | <資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・教科用図書に掲載されている二次元コードで見ることができるものが、教科用図書二次元コード一覧として巻末にまとめられている。 （例）いろは歌・平仮名・片仮名・アルファベット・数字 ・親しみやすい、シンプルなイラストが使われている。 ・「文房四宝」や「筆記用具の特徴」について写真とともに掲載されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・姿勢と鉛筆の持ち方を意識させるためのアイコンが各単元で示されている。 ・筆の運び方や筆圧が朱墨の淡墨と穂先のコメントで示されている。 | | |

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

| | | | |
|---|---|---|--|
| 書名 項目 | <h2 style="margin: 0;">中学書写</h2> | | 17 教出 |
| 内容 | <生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか> | | |
| | ○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見し」の工夫 | ・学年の始めのページにはっきりと何を学ぶのかが文章および箇条書きで順に沿って書いてある。 ・「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう」という決まった流れがはっきり提示されている。 ・めあてを短い言葉で明示している。 | |
| | ○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 | ・「さまざまな書く場面」には、話し合い活動が設けられている。 ・学びを定着させるワークシートが、二次元コードから印刷できるようにになっている。 ・「振り返ろう」では、学習目標が達成できたかについて、「○=できた」「△=もう少し」を選び、自己評価するようになっている。 | |
| | ○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 | ・授業の初めに「試し書き」で自分の課題を見つけ、授業の最後に「まとめ書き」で振り返ることにより、学んだことを確認できるようになっている ・短冊や色紙などの「書を活かせる場面」や、授業中のメモ、手紙、行事、日常生活等の「書く場面」への繋げ方を、写真とともに紹介している。 ・3年間の学習を生かす内容として、「新生入生に自分の中学校の魅力を書いて伝えよう」、「名言を選んで書こう」という取り組みが載っている。 ・「書写テストで確認」により、3年間の学習を確認する構成になっている。 | |
| | <教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか> | | |
| ○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 | ・中学校での効果的なノートの取り方が例示され、小学校との違いを話し合い活動で確認する単元が学習のはじめにある。 ・「学校生活で生かして書く」では、植物の観察をレポートにまとめるまでのマッピングやメモの取り方、横書きでのまとめ方が示されている。 ・SDGsのアイコンを載せることで、学習内容との関連を明確にしている。 | | |
| その他 | <資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・表紙のデザインに古典の題材を使用することで、いわゆる古典的な「書」をイメージできると同時に、写真による提示や現代の生活への結び付けも多い。 ・見開き1ページで完結させ、学びやすい紙面づくりに配慮している。 ・二次元コードでは、二つの課題どちらにも使えるワークシートが載っている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・筆使いや基本の点画について記号を用いて表し、筆圧の強弱について、穂先の記号を1・2・3段階に分けて示している。 ・筆圧について、「1の力」「2の力」「3の力」と示し、生徒の発達段階に対応している。 | | |

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

| | | | |
|----------|--|---|--|
| 書名 項目 | <h2 style="margin: 0;">中学書写</h2> | | 38 光村 |
| 内容 | <p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p> | | |
| | <p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字を分解してみよう」等、漢字の点画の組合せについて、考えさせる内容から学習が始まっている。 ・二次元コード「行書スイッチを入れよう」により、行書の特徴を視覚的に捉えることで、生徒の意欲を高めている。 ・手書きのよさをテーマにした漫画が掲載され関心を高めている。 | |
| | <p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 | <ul style="list-style-type: none"> ・行書における点画の省略について「省略される理由を話し合おう」と投げかけ、学び合いを促す構成になっている。 ・「全国フォント見つけ隊」では、活字にも様々なフォントが存在することを紹介している。 ・「考えよう」の活動では、文字を観察したり、比較したり、字を書く際のポイントを深く考えられるよう構成されている。 | |
| | <p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方が、「①考えよう②確かめよう③生かそう」の順で構成されており、課題に対して考えるところから学習が始まり、「何を学ぶ」のかを確認し生活に生かす構成になっている。 ・一冊が前半と後半ではっきりと硬筆・毛筆に分けられている。 ・「行書を活用しよう」では、学校生活に生かすことができる掲示物の写真を載せている。 ・「三年間のまとめ」や「書写テストに挑戦しよう」のページでは、一年生から学んできた内容が一目で分かるように工夫されている。 ・「自分らしい文字」では、著名人の文字が掲載されており、その人らしさが出る自筆の文字の魅力を伝えている。 | |
| その他 | <p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p> | | |
| | <p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 | <ul style="list-style-type: none"> ・「書写ブック」「季節のしおり」「情報収集の達人になろう」等、国語科や他教科と連動した学習を書くことにより取り組む構成となっている。 ・「SDGs 行動宣言」をつくる取り組みや、「防災フェスタ」を開くなど、書写からできるSDGsについて掲載している。 | |
| その他 | <p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> | | |
| | <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国文字マップ」が掲載されており、身近な文字について興味関心を持たせる内容になっている。 ・現代的な絵柄とデザインだが、書き込むページは色味を押さえてシンプルにしている。 ・“多様性”を意識した人物キャラクターが登場している。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手本作成ソフト「お手本くん」では、毛筆による生徒の名前の手本が教科用図書教材と同様の文字で作成され、個別最適な学びに繋がる。 ・始筆『トン』、送筆『スー』、終筆『トン』、筆圧と線の太さを『3の力』『2の力』『1の力』と表記して筆の運び方のリズムをわかるように伝えている。 | | |